

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成22年 2月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3470103650
法人名	社会福祉法人広島常光福祉会
事業所名	グループホーム げんき馬木
所在地	広島市東区馬木四丁目2122-1 (電話) 082-883-0238
評価機関名	社団法人 広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6番29号 広島県健康福祉センター内
訪問調査日	平成 22年 1月 28日

【情報提供票より】( 21 年 4月 1 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 11月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 15 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 14.6

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り 2 階建て, 1 階 ~ 2 階部分
------	-----------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	62,000 円	その他の経費(月額)	実費 円	
敷金	有( 200,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,350 円			

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2			
年齢	平均 86.6 歳	最低	76 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ふくだクリニック・大田川病院・高揚中央病院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは広島市の郊外の住宅地にあり、近くに高速道路が走り、インターからも近い。各種老人福祉施設を多角的に展開する法人により運営されており、同一敷地内にデイサービス・小規模多機能居宅介護の施設が併設され、多彩な経験と知識に基づいた設備やサービスが提供されている。広々としたリビングの中央に大きなテーブルと豪華な椅子が配置されており、窓からは山や木立が見通せ、心いやされる住空間である。職員と一緒に楽しむ貼り絵やお茶の時間、ゆったりソファで新聞やテレビを見るくつろぎの時間、利用者本位の良質なサービスが提供されている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回の評価で「運営推進会議の内容を家族にしらせる」、「入居者の状況を書面で家族に知らせる」が求められたが、それは運営推進会議にも図られ、皆で協議された結果に基づいた対応がされている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義が理解されており、定期的に行われる職員会議の場で話し合いがされ、全員参加の自己評価が実施されている。そのことにより職員間で課題の共有化・意識の統一化が図られており、サービス提供レベルの向上が期待できる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>町内会長を始め地域包括センター・利用者家族の参加を得て定期的開催されている。ホームからの運営状況の報告・行事計画の発表や報告、参加者による意見交換、更に各回毎に工夫されたテーマが準備されており、積極的な運営が行われている。また、外部評価の結果も公表され、指摘事項等の課題についてもその場で意見交換・検討がされておりサービスの向上に向けての有効な活用がなされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ホームの玄関にはご意見箱が設置されており、重要事項説明書には外部の苦情受付窓口として公的機関が明示されている。ただ実際には、家族の意向や希望は面会時の職員との話し合いの中で伝えられることが多い。運営推進会議や家族会でも意見・希望の発表の場が設けられており、その場で解決できないものについては即、職員会議に図られ、対応策・改善策が検討されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加盟し、役員も引き受け班長や会計も務めた実績もあり、毎月の役員会議はホームを会場として提供し、町内清掃や各種行事にも積極的に参加している。又、事業所主体の防災訓練や餅つき大会には近隣住民に参加を呼びかけるなど、地域との連携には努力が払われ、強い関係が築かれつつある。</p>

## 2. 調査報告書

(    部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所開設当初、職員皆の話し合いにより『人と人のふれあいを大切に生き生きと暮らす……』の事業所独自の理念が作られている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実践するため、職員皆の話し合いで具体的な「月間目標」が作られており、毎日唱和されている。また、その達成度合いは次月の目標設定時に皆で評価されている。更に朝礼時にはその日一日の個人別目標を全員が発表し、目的意識をもって入居者の日々の支援がされている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加盟し役員も引き受け、とんどや秋祭り等、冠婚葬祭以外の町内行事には積極的に参加している。また、ホームで行う消防訓練や正月行事の「餅つき大会」には地域の方にも参加をってもらうなど地元の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員の参加で作られる自己評価、理想的な形で実施されている。外部評価の結果も職員会議で報告され、運営推進会議でも公表されている。そのことにより関係者皆で課題の取り組みが検討され、改善策の実施に弾みがついている。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回、定期的に開催されている。毎回、町内会長の参加もあり、ホームからの運営報告だけでなく町内行事の発表や参加要請が行われている。地区代表・利用者家族を交えて行われる意見交換等、運営推進会議の開催はホームに新鮮な風を送り込んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人本部では市町村との連絡・連携は密なるものがあるが、ホーム単独では普段は行き来する機会はあまりない。ただ管理者が区役所で開催されるケヤマネ勉強会に毎月出席している。また市町村への必要な報告・連絡は欠かしていない。		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや健康状態については家族面会時の報告とは別に、毎月一回、定期的にホーム便り『げんきだより』が作成され家族に送付されている。写真がふんだんに取り入れられ行事予定等も表示されており、家族にとって欠かせない嬉しいサービスである。		カラー刷りでレイアウトも良く工夫されており素晴らしいホーム便りが作られている。欲を言えば、個々の利用者の暮らし振りや健康状態についてケア担当者から家族に向けた『一口メッセージ』が添えられ、家族にとって温かみの増すホーム便りにグレードアップが図られることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にはご意見箱を設置し、重要事項説明書には外部公的機関を苦情受付窓口として明示してある。家族の意向や希望のほとんどは面会時の話し合いの中で伝えられ汲み取られている。更に特筆すべきは家族総会時にホーム独自のアンケートを実施しており、前向きな姿勢が伺える。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	定期的でやむを得ない異動もあるが、利用者にとってダメージを最大限抑える配慮はされている。緩やかな異動については利用者にとってもホーム全体にとってもダメージよりむしろ活性剤になるよう努力している。過度な異動による利用者への影響は理解されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修を始め、適宜、本部より送られてくる研修案内により段階に応じて参加している。事業所でも毎月開かれる職員会議の後に勉強会を実施している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業他社との定期的な交流は今のところないが、施設見学の要望があれば受け入れている。同一法人内での各種施設との共同管理者会議には出席し各種情報を得ており、会議内容は議事録として職員間を回覧させ全員のレベルアップを図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に見学に来てもらい、本人・家族と十分な話し合いを通じ納得した上で入所してもらっている。入所後に本人の気持ちが不安定な時は家族に連絡し面会の回数を増やしてもらい、電話での声掛けをもらう、あるいは散歩に誘い本人の気持ちの安定を図ることに全力がつけられている。		
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事やおやつを共に楽しむ。家事を一緒にやり、昔取った杵柄で調理法を教えてもらう。また、本人の得意とする事が新たに発見されたら、職員皆にそのことを周知させ、皆で協力しそれを応援し、更に皆で学ぶ。教え教えられ、支えあう関係を築く配慮がされている。		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おやつ等の時間等、職員も利用者と一緒にゆったりとした時間を持ち、共にお茶を飲みながら本人の意向や気持ちを汲み取るよう努めている。また、本人の希望で、部屋でゆっくりと話を聞くこともあり、利用者に寄り添う時間が大切にされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時に本人・家族の意向・希望を充分聞き、それを基に関係者で意見を出し合いプランを作成している。作成された介護計画は家族にも十分な説明がなされた承を得ている。また、介護計画書の一連のフォーマットは幾度も見直され改良がされ、家族にとっても非常に見易いものが作られている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度、定期的にカンファレンスを実施しケアプランの評価を行い、改善すべき点を項目別に書面に明記している。更に、その改善点が日々、確実に実行されているか否かを評価し毎日、ケース記録張に達成度合いが記録されていることは注目に値する。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の要望に沿うべく、同一法人内の他施設と連携を計り適切な対応がされることもある。また、ドライブの日に合わせて、利用者が買い物等で希望している場所に目的地を変更したり、墓参りの希望を叶えたこともあり、柔軟な支援がされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後、提携医の定期的な回診があることにより、時間の経過と共にほとんどのケースで自然と提携医が、かかりつけ医となっている。入居以前からの本来のかかりつけ医の受診希望は当然受け入れているが、お連れするのは基本的には家族にお願いしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りは行っていないが、重度化した場合の事業所の方針・対応は入居契約時に本人・家族に充分説明し理解を得られている。寝たきりになる等、重度化した場合は医師の意見や判断を基に早めに家族と最良の対応を話し合い、病院への入院や老健を紹介する等の次の道筋をつける協力はされている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの確保や個人情報保護に関しては統一した対応ができるようマニュアルを作成している。また、今月のホームの月間目標として『プライバシーに配慮した声掛け・対応を心がけましょう』が掲げられ、全職員への意識付け・徹底が図られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食時間等は決められているが、朝寝坊を希望する時等は本人の体調や気分に合わせて食事時間ををづらしている。また、皆で楽しむゲームや体操の時間も本人の気持ちを大切にして本人本位の過ごし方をしてもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常は契約業者のメニューにより食材が届けられ、それを調理しているが、時にプラスの一品を付け加えることもある。また、週に一回のペースで皆の希望を取り入れたホーム独自の献立により食事を作り、お正月や節分等、季節や行事に沿った食事も準備し、食事が楽しいものになるよう工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の日時や順番等は決められておらず、声掛けにより、入りたい人から順次、入浴している。一斉介助を嫌がるかゆっくり入りたいとか、なるべく本人の好きな入浴スタイルに沿った支援をするよう配慮がされている。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員を交えて皆で楽しむ貼り絵やちぎり絵、自分の趣味を生かした編み物や書初め、また、体力・好みに合わせて行う食器洗いや洗濯物のたたみ、利用者一人ひとりが喜びや張り合いをもった日々を過ごせるようキメ細かい支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関前が広い庭になっており、天気の良い日は日常的に散歩してもらっている。また、月に2回、皆でドライブを楽しんでいる。近くの公園に梅を見に行ったり初詣をしたり、マツダスタジアムにも行き、戸外に出かける必要性が認識され、支援されている。		
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はタッチセンサー付であるが、玄関の外は敷地内の広い庭になっており安全面で比較的に問題が少ないこともあり、操作可能な人は利用者を含め自由に出入りしている。鍵を掛けることの弊害は充分理解されており、柔軟な対応がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防訓練が実施されている。運営推進会議の議題としても消防訓練が取り上げられており、町内会長の参加もあり、昨年に続き今年も町内会と合同で訓練が計画されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月間の献立表に基づいて日々の食事を作るため、基本的には栄養バランスは問題なく、摂取量は記録していないが、あまりにも少ないときは記録するようにしている。また、水分等の摂取量が少ないときは時間帯をずらしたり、品を変えたりして補給するよう工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広くゆったりとしており、食卓テーブル・特に椅子はキャスター付の重厚な作りで、利用者がゆっくりと食事したり、貼り絵を楽しんだり、くつろげる空間となっている。大き目の窓で室内は明るく、トイレ・廊下の隅々まで清掃が行き届き、快適に過ごせる環境が整っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットは備え付けだが、家具や寝具は使い慣れたものを持ち込んでもらっている。室内のレイアウトは本人・家族にやってもらっており、本人が居心地良く過ごせるよう配慮されている。		

# 介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホームげんき馬木 1階

評価年月日 H21年 12月 22日

記入年月日 H22年 1月 10日

この基準に基づき、別紙の実施方法  
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 介護職 氏名 川戸 竹子

広島県福祉保健部社会福祉局介護保険指導室

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	-------------------	---------------------------------

## 理念の基づく運営

### 1 理念の共有

1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	「人と人とのふれあいを大切に生き生きと暮らしたいあなたを全面的にサポートします」の理念を作っている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	朝礼で毎朝理念を復唱している 月間目標を決め、理念同様復唱している		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関へ掲示し、来園者等にも見えやすい位置にある		

### 2 地域との支えあい

4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	挨拶の励行 町内会参加・加入 花・野菜の苗等頂いたり、差し上げたりする 施設行事の案内、招待している		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会参加し、役員を引き受けている 町内清掃、行事への参加 毎月の会合に会場を提供している 事業所主体の防災訓練時、近隣住民に参加呼びかけている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	げんき祭り等イベントへ招待 ボランティアに来てもらう 防災訓練の開催(回覧板に掲示)		
3 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価された事を改善し取り入れている 運営推進会議、職員会議にも取りあげ、検討し改善している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催 会議記録をとり、意見をサービスへ盛り込んでいる		会議記録は玄関に掲示し、会議に参加していない家族にも、面会時に目を通してもらえるようにしている
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	ケースバイケースで、市や区役所との情報交換を行っている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修等に参加し、職員間で情報を共有している		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修参加し、勉強会等を開催し、情報提供している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間をかけ説明を行い、同意を得ている 不明な点については事後対応も行い、理解、納得をしてもらっている		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	苦情箱を設けている。また、随時口答でも受付、内容を運営に反映させている		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	面会時に随時報告を行っている。 急を要する場合は、別途電話連絡等を行っている 又、毎月施設広報誌を送付している		家族会総会の時に、クリニック検査結果・ケース記録等の閲覧可能であることを再度伝えた げんき便りでも追記するようにしている 金銭出納を家族に了承を得ているが、今後はサインも頂くようにする
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会総会等でアンケートを行うなどして、意見が反映できる様にしている		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全体会議や随時個別に意見を聞く機会を設けている		提案書でも受け付けている
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	決まった職員が処遇できるように組んでいる 又、その都度臨機応変に対応し、調整を行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<b>職員の異動等による影響への配慮</b> 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	事業所業務全般を複数人で行うなどし、入居者への対応が疎かにならないよう人員補充も行っている		
<b>5 人材の育成と支援</b>				
19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修等積極的に参加している		
20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	見学等要望の受け入れや研修に参加し、他施設管理者と交流をしている		
21	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	個人的に会話する機会を設けたり、勉強会で情報交換等で意見を聞いている 又、親睦が図れるよう、飲み会や親睦旅行等を設けている		
22	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	研修等積極的参加の受け入れ 係を個別に任せている 免許取得の為に勤務待遇を計る パートから正社員への登用		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	積極的に関わり、時間を多く取りよく聞いている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	何度となくコンタクトを取る等不安解消に努めている		
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じ、同意を得て他事業所への紹介等もやっている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならな馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人・家族の同意の基サービスを提供している 見学等自由に受け付けている		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事等を一緒に行っている 食事・おやつを共にする 談話 レクリエーションの開催		
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜ぶ哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族会があり、年1回総会を実施し、家族・職員と悩みを話し合う場を設けている 年3回家族参加の行事の開催 (日帰り旅行、運動会、もちつき)		
29	本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	家族会や面会時等意見交換を行い、相互に情報交換を行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	随時面会を受付、外出・外泊の希望を取り入れている ドライブで、昔住んでいた地域や店等に行くことがある		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	気が合う入居者同士の席の配置やレクリエーションの実施、声掛けの励行等を行い、利用者同士がなじみの関係作りができるようにしている		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	家族からの要望等あれば契約期間同様、親身な対応を行い、良好な関係を継続するよう努めている		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向の把握に努め、思いを尊重した暮らしができる様にしている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サマリー・家族、ケアマネ等からの情報収集、本人からの回想を含め把握し、サービス導入を行っている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	バイタルチェックを毎日実施。個別レク、家事等を行うことにより現状把握に努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人・家族の意見を取り入れ、カンファレンスにて積極的な意見を出し合い、プランに盛り込んでいる		
37	状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	全体会議での意見や、定期・不定期カンファレンスの実施にて、必要に応じプラン作成を行っている		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	当日勤務者全員が個々のケース記録にケアプランの実施状況をふまえ、記録を行っている		伝達ノート等を利用し、情報の共有に努めている
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望に沿えるよう努めている 場合によっては他事業所との連携も図っている ショートを受け入れ		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	消防署に来てもらい、避難訓練を実施 職場体験など実習生の受け入れ ボランティアの慰問や公民館の活用		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	訪問看護の受け入れ 歯科医師の往診 出張理美容の実施		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議での情報交換も含め、個別の案件においても相互に良好な関係を築いている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	週1回かかりつけ医の往診 入居時かかりつけ医の希望を聞き、定期・不定期受診を行っている。良好な関係を築き、緊急時等適切に対応できる様にしている。		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医が脳外科医であり、専門的アドバイス等もっている。また、定期受診を実施し、診断・治療を継続的に行っている		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回訪問看護に来てもらい、健康管理等行っている。 また、同敷地事業所に看護師を配置している。		
46	早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	積極的に情報交換を行い、一定期間に見舞いへ行き状況の把握に努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	細めに連絡を取り合い、本人や家族の要望に沿える体制を築き、支援している		
48	重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医、法人内事業所と連携をはかって対応している		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	サマリーの発行をしている 居宅、地域包括との情報共有、サマリーを受ける		
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	尊重した対応を行い、個人情報保護に対し慎重な取り扱いをし、職員会議でも話し合う 統一した対応ができるようマニュアル作成している		職員会議等で話し、意識の向上に努めている
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	声掛けの工夫、訴えの受容等個々に合わせた対応を行い、納得が得られるよう支援している		職員会議等で話し、意識の向上に努めている
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースを尊重している 本人がしたいことを行えるよう、散歩等している		職員会議等で話し、意識の向上に努めている

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ドライブで服を見に行く等、希望があれば実施している。また、定期的な出張理美容の活用をしている 毎日の整容に配慮している		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理、準備、片付けは入居者と共に行っている。また、外食も実施している 季節に合った食事を提供している		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	希望に応じ対応している。 嗜好調査を行っている。 売店の活用		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個別の排泄表を作成し、個々に合わせた排泄が行えるようにしている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望を聞きながら、対応している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活パターンを重視しつつ、規則正しい生活が送れるよう支援している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割, 楽しみごと, 気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割, 楽しみごと, 気晴らしの支援をしている。	家事等役割の提供                      レクリエーション・ 外出・外食等の実施 アクティビティー活動を実施し、見たり作ったりすることを楽しんでもらっている		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理可能な人は自ら管理している。また、いつでも買い物できる環境を作っている		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望者に戸外へ散歩等出られるようにしている		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	家族との外出・外泊、行事の企画・実施 希望を取り入れてのドライブや馴染みの場所への散歩(寺、公民館、スーパー、自宅周辺)		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し、いつでも使用できるようにしている。 携帯電話の管理、手紙の投函等も行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族, 知人, 友人等, 本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	随時面会等受け付けている とくに面会時間の規制を作っていない 希望により、宿泊も受け入れている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践            運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会、研修参加等を通じ、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践            運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関はタッチセンサー付であるが、操作可能な人は自由に出入りしている。</p>		
67	<p>利用者の安全確認            職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常時、様子観察・所在確認を行っている。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理            注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>状況に応じた対応をしている。            危険な場合は直ちにカンファレンスし、対応している</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み            転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>勉強会や研修参加にて情報を共有し、ケアプラン等を活用し、個々の事故防止に努めている。            又、家族にも食べ物の持ち込み等積極的に申告して頂き、誤嚥等の予防に努めている</p>		
70	<p>急変や事故発生の備え            利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。</p>	<p>避難訓練、緊急対応の練習や事例を基に状況に応じた対応ができるような取り組みをしている。            別途マニュアルを作成している</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防計画を作成し、近隣住民と一緒に避難訓練を実施している。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ケアプランと共にリスクについても説明している。 また、面会時等近況報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々のバイタルチェック、状態観察を行い、申し送り、伝達ノートを活用し、情報共有している。		ケース記録の活用
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬管理を行っており、個々に処方された薬の詳細を把握している。変更の際は情報共有し、観察、記録を行っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	日々の運動、食品工夫、水分補給等で予防に努める。 又、必要に応じて個別に排便コントロールを行う。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の口腔ケアの声掛け、介助を行う。 週1回、洗剤にて消毒を行う		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	日々の摂取量の管理、既往歴、体調の把握に努め、バランスのとれた食事を提供している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。 (インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等)	うがい、手洗いを徹底し、予防の対応の取り決めがある。 随時、法人施設やクリニックから流行していることを知らせる連絡が入る		
79	食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食洗機の使用、まな板の殺菌、日々の清掃を行っている。 食材は、業者より新鮮な食品を毎日入荷している。		
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節の草花の栽培や玄関の飾りつけを行い、毎日清掃している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感ある飾りつけ、毎日の清掃を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファースペースを設けたり、リビングで作業できる空間を設けている。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人持ちの家具、寝具を使用している。室内レイアウトは本人・家族が行っている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調管理、換気を細めに行い、消臭用の炭を活用している。		消臭剤の活用
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー、手すり設置。全体的に広めのスペースを設けている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	声掛けの工夫を行ったり、場所を大きな文字にて表示している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	広い庭や花壇、畑を作っている。 椅子やテーブルを設置し、気軽に外気浴を楽しめるようにしている		

# 介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホームげんき馬木 2階

評価年月日 H21年 12月 22日

記入年月日 H22年 1月 10日

この基準に基づき、別紙の実施方法  
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 介護職 氏名 伊藤 佳世

広島県福祉保健部社会福祉局介護保険指導室

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	-------------------	---------------------------------

## 理念の基づく運営

### 1 理念の共有

1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	「人と人とのふれあいを大切に生き生きと暮らしたいあなたを全面的にサポートします」の理念を作っている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	朝礼で毎朝理念を復唱している 月間目標を決め、理念同様復唱している		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関へ掲示し、来園者等にも見えやすい位置にある		

### 2 地域との支えあい

4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	挨拶の励行 町内会参加・加入 花・野菜の苗等頂いたり、差し上げたりする 施設行事の案内、招待している		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会参加し、役員を引き受けている 町内清掃、行事への参加 毎月の会合に会場を提供している 事業所主体の防災訓練時、近隣住民に参加呼びかけている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	げんき祭り等イベントへ招待 ボランティアに来てもらう 防災訓練の開催(回覧板に掲示)		
3 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価された事を改善し取り入れている 運営推進会議、職員会議にも取りあげ、検討し改善している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催 会議記録をとり、意見をサービスへ盛り込んでいる		会議記録は玄関に掲示し、会議に参加していない家族にも、面会時に目を通してもらえるようにしている
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	ケースバイケースで、市や区役所との情報交換を行っている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修等に参加し、職員間で情報を共有している		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修参加し、勉強会等を開催し、情報提供している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間をかけ説明を行い、同意を得ている 不明な点については事後対応も行い、理解、納得をしてもらっている		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	苦情箱を設けている。また、随時口答でも受付、内容を運営に反映させている		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	面会時に随時報告を行っている。 急を要する場合は、別途電話連絡等を行っている 又、毎月施設広報誌を送付している		家族会総会の時に、クリニック検査結果・ケース記録等の閲覧可能であることを再度伝えた げんき便りでも追記するようにしている 金銭出納を家族に了承を得ているが、今後はサインも頂くようにする
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会総会等でアンケートを行うなどして、意見が反映できる様にしている		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全体会議や随時個別に意見を聞く機会を設けている		提案書でも受け付けている
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	決まった職員が処遇できるように組んでいる 又、その都度臨機応変に対応し、調整を行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<b>職員の異動等による影響への配慮</b> 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	事業所業務全般を複数人で行うなどし、入居者への対応が疎かにならないよう人員補充も行っている		
<b>5 人材の育成と支援</b>				
19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修等積極的に参加している		
20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	見学等要望の受け入れや研修に参加し、他施設管理者と交流をしている		
21	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	個人的に会話する機会を設けたり、勉強会で情報交換等で意見を聞いている 又、親睦が図れるよう、飲み会や親睦旅行等を設けている		
22	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	研修等積極的参加の受け入れ 係を個別に任せている 免許取得の為に勤務待遇を計る パートから正社員への登用		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	積極的に関わり、時間を多く取りよく聞いている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	何度となくコンタクトを取る等不安解消に努めている		
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じ、同意を得て他事業所への紹介等も行っている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならな馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人・家族の同意の基サービスを提供している 見学等自由に受け付けている		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事等を一緒に行っている 食事・おやつを共にする 談話 レクリエーションの開催		
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜ぶ哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族会があり、年1回総会を実施し、家族・職員と悩みを話し合う場を設けている 年3回家族参加の行事の開催 (日帰り旅行、運動会、もちつき)		
29	本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	家族会や面会時等意見交換を行い、相互に情報交換を行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>随時面会を受付、外出・外泊の希望を取り入れている ドライブで、昔住んでいた地域や店等に行くことがある</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>気が合う入居者同士の席の配置やレクリエーションの実施、声掛けの励行等を行い、利用者同士がなじみの関係作りができるようにしている</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>家族からの要望等あれば契約期間同様、親身な対応を行い、良好な関係を継続するよう努めている</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> </div>				
<p>1 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>意向の把握に努め、思いを尊重した暮らしができる様にしている</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>サマリー・家族、ケアマネ等からの情報収集、本人からの回想を含め把握し、サービス導入を行っている</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>バイタルチェックを毎日実施。個別レク、家事等を行うことにより現状把握に努めている</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人・家族の意見を取り入れ、カンファレンスにて積極的な意見を出し合い、プランに盛り込んでいる		
37	状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	全体会議での意見や、定期・不定期カンファレンスの実施にて、必要に応じプラン作成を行っている		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	当日勤務者全員が個々のケース記録にケアプランの実施状況をふまえ、記録を行っている		伝達ノート等を利用し、情報の共有に努めている
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望に沿えるよう努めている 場合によっては他事業所との連携も図っている ショートを受け入れ		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	消防署に来てもらい、避難訓練を実施 職場体験など実習生の受け入れ ボランティアの慰問や公民館の活用		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	訪問看護の受け入れ 歯科医師の往診 出張理美容の実施		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議での情報交換も含め、個別の案件においても相互に良好な関係を築いている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	週1回かかりつけ医の往診 入居時かかりつけ医の希望を聞き、定期・不定期受診を行っている。良好な関係を築き、緊急時等適切に対応できる様にしている。		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医が脳外科医であり、専門的アドバイス等もっている。また、定期受診を実施し、診断・治療を継続的に行っている		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回訪問看護に来てもらい、健康管理等行っている。 また、同敷地事業所に看護師を配置している。		
46	早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	積極的に情報交換を行い、一定期間に見舞いへ行き状況の把握に努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有            重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p>	<p>細めに連絡を取り合い、本人や家族の要望に沿える体制を築き、支援している</p>		
48	<p>重度化や週末期に向けたチームでの支援            重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>かかりつけ医、法人内事業所と連携をはかって対応している</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止            本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。</p>	<p>サマリーの発行をしている            居宅、地域包括との情報共有、サマリーを受ける</p>		
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>				
<p>1 その人らしい暮らしの支援            (1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底            一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>	<p>尊重した対応を行い、個人情報保護に対し慎重な取り扱いをし、職員会議でも話し合う            統一した対応ができるようマニュアル作成している</p>		<p>職員会議等で話し、意識の向上に努めている</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援            本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>声掛けの工夫、訴えの受容等個々に合わせた対応を行い、納得が得られるよう支援している</p>		<p>職員会議等で話し、意識の向上に努めている</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし            職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>個々のペースを尊重している            本人がしたいことを行えるよう、散歩等している</p>		<p>職員会議等で話し、意識の向上に努めている</p>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ドライブで服を見に行く等、希望があれば実施している。また、定期的な出張理美容の活用をしている 毎日の整容に配慮している		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理、準備、片付けは入居者と共に行っている。また、外食も実施している 季節に合った食事を提供している		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	希望に応じ対応している。 嗜好調査を行っている。 売店の活用		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個別の排泄表を作成し、個々に合わせた排泄が行えるようにしている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望を聞きながら、対応している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活パターンを重視しつつ、規則正しい生活が送れるよう支援している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	家事等役割の提供                      レクリエーション・ 外出・外食等の実施 アクティビティー活動を実施し、見たり作ったりすることを楽しんでもらっている		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理可能な人は自ら管理している。また、いつでも買い物できる環境を作っている		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望者に戸外へ散歩等出られるようにしている		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	家族との外出・外泊、行事の企画・実施 希望を取り入れてのドライブや馴染みの場所への散歩(寺、公民館、スーパー、自宅周辺)		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し、いつでも使用できるようにしている。 携帯電話の管理、手紙の投函等も行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	随時面会等受け付けている とくに面会時間の規制を作っていない 希望により、宿泊も受け入れている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践            運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会、研修参加等を通じ、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践            運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関はタッチセンサー付であるが、操作可能な人は自由に出入りしている。</p>		
67	<p>利用者の安全確認            職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常時、様子観察・所在確認を行っている。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理            注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>状況に応じた対応をしている。            危険な場合は直ちにカンファレンスし、対応している</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み            転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>勉強会や研修参加にて情報を共有し、ケアプラン等を活用し、個々の事故防止に努めている。            又、家族にも食べ物の持ち込み等積極的に申告して頂き、誤嚥等の予防に努めている</p>		
70	<p>急変や事故発生の備え            利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。</p>	<p>避難訓練、緊急対応の練習や事例を基に状況に応じた対応ができるような取り組みをしている。            別途マニュアルを作成している</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防計画を作成し、近隣住民と一緒に避難訓練を実施している。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ケアプランと共にリスクについても説明している。 また、面会時等近況報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々のバイタルチェック、状態観察を行い、申し送り、伝達ノートを活用し、情報共有している。		ケース記録の活用
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬管理を行っており、個々に処方された薬の詳細を把握している。変更の際は情報共有し、観察、記録を行っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	日々の運動、食品工夫、水分補給等で予防に努める。 又、必要に応じて個別に排便コントロールを行う。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の口腔ケアの声掛け、介助を行う。 週1回、洗浄剤にて消毒を行う		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	日々の摂取量の管理、既往歴、体調の把握に努め、バランスのとれた食事を提供している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。 (インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等)	うがい、手洗いを徹底し、予防の対応の取り決めがある。 随時、法人施設やクリニックから流行していることを知らせる連絡が入る		
79	食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食洗機の使用、まな板の殺菌、日々の清掃を行っている。 食材は、業者より新鮮な食品を毎日入荷している。		
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節の草花の栽培や玄関の飾りつけを行い、毎日清掃している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感ある飾りつけ、毎日の清掃を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファースペースを設けたり、リビングで作業できる空間を設けている。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人持ちの家具、寝具を使用している。室内レイアウトは本人・家族が行っている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調管理、換気を細めに行い、消臭用の炭を活用している。		消臭剤の活用
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー、手すり設置。全体的に広めのスペースを設けている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	声掛けの工夫を行ったり、場所を大きな文字にて表示している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	広い庭や花壇、畑を作っている。 椅子やテーブルを設置し、気軽に外気浴を楽しめるようにしている		